

## 第 6 回稲沢市給食基本計画策定委員会 議事要旨

日時：令和 3 年 2 月 1 6 日（火）

1 4 時 0 0 分から 1 6 時 0 0 分まで

会場：稲沢市勤労福祉会館 3 階 議員総会室

### 1 開会

【開会のあいさつ】

【委員長あいさつ】

### 2 協議

#### (1)パブリックコメントの結果報告

委員 : 39 ページの祖父江町学校給食センターの令和 6 年度の提供食数と余力数を足すと合計 3,001 食になる。祖父江町学校給食センターの調理能力は最大で 3,000 食なので、単純な誤記載なのか。

他の調理場の数値についても確認してください。

創建 : 端数処理によって、そうした記載になっていると思いますので、再度確認して修正させていただきます。

委員 : 資料 1 の 1 ページの最下段の「労働環境の改善を図る」という言葉を「多忙化解消を図る」に修正したと書かれているが、その 28 ページの左側の文言は治っているのですが、右側に (3) に労働環境の改善という言葉が残っており、こちらについても修正した方がよいと思います。

また、52 ページにも労働環境の改善という言葉があるため、こちらについても修正した方がよいと思います。

事務局 : 修正させていただきます。

委員長 : おそらく 27 ページの (3) も同じことだと思う。言葉をそろえた方がよいと思う。

事務局 : すべてのページをみてチェックさせていただきます。

委員 : 資料 3 の概要版の子ども手当は現在、児童手当が正しい名称ですので、児童手当に修正された方がよいと思う。

委員 : 基本計画の 6 ページで中学校における学校給食実施率が全国のことと書いており、稲沢市は 100%ということは分かったが、地場産物の利用率は全国の割合ですか。

創建 : はい、全国の数値です。

委員 : そうでしたら、中学校の実施率が稲沢市は 100%であることを記載した方がよいですし、地場産物の利用率についても稲沢市の数値が記載されているとよいと思う。

事務局 : 資料を確認して、データがあれば分かりやすい表記で記載したいと思います。

委員 : 13 ページで「県内産・市内産野菜を使った給食の提供に努めている」とあるが、実

際に提供しているので、「～給食を提供している」という表現でよいのではないか。  
41 ページの大里東小学校の建替えについて、「単独調理場の建替えができない」とあるが、出来ないということではないと思うので、新設が難しいという表現に変えてはどうか。

また、A 案で単独調理場の 18 校とあるが、17 校しか図上には記載されておらず、千代田中学校がないと思うので、加えてほしい。

51 ページの「親子・センター方式の給施設」となっており、正しくは給食施設だと思う。56 ページの下から 6 行目、子ども手当や児童手当の所ですが、子ども手当などが、市が所管する学習援助費などとあるが、児童手当・就学援助費などからが正しいと思う。

28 ページの給食の提供に関する方針で、高水準での安心・安全な給食の提供とあるが、高水準という言葉は必要ないのでは。給食施設であれば高水準という言葉はわかるが、安心・安全な給食で高水準という表現は厳しいと感じる。

事務局 : 施設的な意味での高水準と安心・安全の意味での高水準という言葉の使い分けを考えたいと思います。

委員長 : 衛生管理については高水準という言葉を使っても問題はないと思う。  
しかし、栄養バランスの取れた食事の所に高水準という言葉があるのはおかしいと感じる。

事務局 : ほかのページにも高水準という言葉が出てきますので、それについても修正させていただきます。

委員長 : 30 ページの現状の所なのですけれども、「わが国においては、国民の生活水準が向上し、今日の食生活は一般的に豊かになったといわれているものの、一方では不規則な食事が見られることや、偏った食事内容からくる栄養のアンバランスや運動不足などによる肥満、貧血、疲れ、集中力の欠如などの問題…」とあるが、肥満や貧血は理解できるが、疲れは食生活によるものなのか。

委員 : 肥満の反対となる羸瘦、やせ過ぎなどの表現が、給食の栄養についての個別指導を行うといった視点からは適当だと思う。

創建 : 厚生労働省や文科省から引用させていただいた文章であると思うので、確認して、必要であれば修正させていただきます。

委員 : 36 ページの図で学校の老朽化状況について○が非老朽、△が老朽となっているが、その上の文章では、30 年以上が経過しており、総じて老朽化している状況であるとあり、この図を見ると○が多い。これが果たして総じてという表現で正しいのか。  
39 ページの図の稲沢中学校などが、表に隠れて見えなくなっているため、修正をお願いする。

委員長 : 先ほど 41 ページで、大里東小学校の建て替えへの対応ができないではなく、難しいということでしたが、43 ページの説明についても修正する必要がある。

事務局 : 「新たな用地確保を行うこともできない」という文章を困難であるや難しいといった表現に変更します。

- 委員長 : その下の文章も単独調理場以外で検討することが望ましいといった表現の方がよいと思う。  
併せて表現を検討しないと釣り合いが取れなくなる。
- 委員長 : 「学校給食衛生管理の基準」は文科省による基準で、「大量調理施設衛生管理マニュアル」は厚労省の作成したものである。  
「学校給食衛生管理の基準」のみを記載すればよいのではないか。  
47 ページなどで、全く同じことを両方の内容で記載している。
- 事務局 : 9 ページにも「大量調理施設衛生管理マニュアル」の内容を記載しておりますが、大量調理施設とは同一メニューを1回 300 食以上又は1日 750 食以上を提供する調理施設を指すということで、市の給食センターなどはそれにあてはまるものと考えます。
- 委員長 : もちろんその通りだと思うが、基本「大量調理施設衛生管理マニュアル」を踏まえて「学校給食衛生管理の基準」が作られていると思うので、「学校給食衛生管理の基準」の方が学校給食に適合するようにより細かい内容が記されていると考える。  
例えば、「大量調理施設衛生管理マニュアル」では、肉・魚の搬入口を分けるなどは記載されていない。
- 事務局 : 「大量調理施設衛生管理マニュアル」と「学校給食衛生管理の基準」とを照合して、記載方法を検討させていただきます。
- 委員 : 参考資料2の7 ページに災害時に学校の調理場が無くても大丈夫かという意見に対して、家庭科室があるので大丈夫とありますが、そこまで大量の調理はできないと思う。
- 事務局 : 大量に調理をすることは困難かもしれませんが、湯を沸かすことや、少しでも温かいものを提供することはできると思います。また、物を洗ったりはできると思います。
- 委員 : 栄養士の視点からおいしい給食を提供したいということで、参考資料2の2 ページで、計画書の47 ページに関する意見への回答で、保温食缶などを利用することで、出来立てに近い状態で提供しますとあるが、保温食缶は温かさを保ってくれますが、色や食感は変わる。  
新しい給食施設を作る際に、配送時間を検討していただくことは良いのですが、保温食缶で対応するということには少し問題があると思う。
- 事務局 : 配送時間をなるべく最短にして、出来立てに近い状態で給食を提供することが第一であり、保温食缶は温かいものを温かいまま、冷たいものを冷たいまま提供できるようにするための補助的なものであると考えております。  
給食の配送時間が短くなるように配送方法について検討したいと思います。
- 委員 : 大規模センターに移行すると単独校で行っているような土曜学級などができなくなるのではないか。
- 事務局 : 稲沢東部学校給食調理場は元々単独調理場から移行して、土曜学級等での給食提供

を行わなくなった。多少そうした制約も出てくると思う。

- 委員長 : 50 ページの写真について、なぜ学校給食施設ではなく、大学の研修室を掲載しているのか。
- 創建 : 利用できる写真等を改めて探させていただき、可能であれば差し替えたいと思います。

(2) 給食基本計画及び給食基本計画【概要版】の承認について

- 委員長 : この会議でいただいたご意見やご指摘を踏まえて修正した「稲沢市給食基本計画」及び「給食基本計画【概要版】」について拍手で承認いただけますでしょうか。
- 一同 : (拍手)
- 委員長 : ありがとうございました。
- 事務局 : ご意見とご指摘を踏まえて修正を行った「稲沢市給食基本計画」及び「給食基本計画【概要版】」について、委員長と副委員長にご説明をした上で、3月下旬に市ホームページ上で公開させていただきます。

### 3 閉会

【閉会のあいさつ】